

## S S 過疎地研究会について

### 1. 趣旨

過疎地の S S の多くは、高齢化、後継者難、収入減等により厳しい環境に置かれている。さらに、C N により事業継続意欲が減退し、廃業が加速すると推測される。そのため、地域の燃料供給維持のため、集約、公設民営等地域の事情に応じた S S の出口の方向性を提示する必要性がある。

本研究会においては、事業者、自治体、元売等の S S 過疎地における現状を確認した上で、今後の見通しを考察するとともに、先進事例等を参考として、S S 過疎地対策として有効と考えられる方策を検討する。

また、これらの検討結果をもとに、S S 過疎地対策ハンドブックを改訂し、これを広く共有することで、S S 過疎自治体に対して「気づき」を促すとともに、燃料供給政策の進め方の一助とする。

### 2. スケジュール (案)

1 2月 1日 第 1回 S S 過疎地等の現状について (概況説明)、論点、今後の進め方

1 月下旬 第 2回 S S 過疎地の実態等について

- ・ S S 過疎地の現状について

2 月下旬 第 3回 先進事例や今後の S S 過疎地対策等について

- ・元売会社の現状と今後の考え方について
- ・異業種の過疎地に対する取組事例について
- ・先進自治体ヒアリング等の結果について
- ・取りまとめ論点整理

3 月下旬 第 4回 研究会中間取りまとめ案、S S 過疎地ハンドブック改訂案

### 3. 勉強会の出口イメージ

- S S 過疎地対策ハンドブックの改訂
- 全国大での過疎自治体における課題の認識、ベストプラクティスの共有
- 過疎地支援策の令和 5 年度予算要求への反映
- その他